

説教余滴 20204 月 5 日、滝さくら

本郷の瀧桜(又兵衛桜)と呼ばれる樹があります。樹令 300 年とも伝えられているしだれ桜で雄大であり、回りには桃の木が植えられてなおいっそうみごと。地元には、戦国武将後藤又兵衛が落ちのびたという伝説が残ることから、又兵衛桜とも呼ばれています。

幹周約 3m、高さ約 13m の見事な桜で、シーズンには 5~6 万人の花見客で賑わいます。

2020 年の桜祭りは、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、中止となっています。

三春滝桜(みはるたきざくら)は、福島県田村郡三春町大字滝字桜久保に所在する、樹齢推定 1000 年超のベニシダレザクラ(紅枝垂桜)の巨木です。国の天然記念物。三春の滝桜、また単に滝桜とも呼ばれています。

日本五大桜または三大巨桜の 1 つとして知られています。2012 年時点で推定樹齢 1000 年超、樹高 12m、根回り 11m、幹周り 9.5m、枝張り東西 22m・南北 18m。

三春町の滝地区に所在すること、毎年 4 月中・下旬に四方に広げた枝から薄紅の花が流れ落ちる滝のように咲き匂うことから、この名で呼ばれています。毎年全国から 30 万人の観光客が訪れます。

例年になく、早い時期から咲き始めた桜です。散るのも早くて当然。3 月末には、ちらほらと、花卉が舞い始め、会堂の石段下に集まるようになりました。

これから若葉の季節になります。春落ち葉・クス落ち葉などの掃除が必要になります。同時に、なぜか吸い殻が増える時期と重なります。暖かくなり気持ちが軽くなって、つい手が出るのでしょうか。唇に好きな歌が出てくる頃でしょう。高歌放吟とまでは行かないでしょうが、大きな声で歌をうたうことは健康に良い、と言われます。

コロナ対策で、礼拝時間の短縮を図っています。讚美歌の歌い方も変えましょう。歌わないで、口の中で読み上げてください。意外、讚美歌唱の基本、意味がよくわかるはずです。